令和4年度 助成金交付決定事業 実績

〇国際化イベント(市民の自主的な企画により実施される国際交流・国際協力イベント)		
助成事業の名称	第4回日韓友好のつどい in OITA	
団体名	NPO法人日韓芸術文化交流会	
助成額	696,000円	
事業費	3,684,953円	
事業実施期間	令和4年9月30日~10月1日	
概要	日韓の民間交流を促進し、両国の相互理解を深めることを目的に2日にわたって開催された。1日目は、慶州芸術文化交流団の歓迎式典から始まり、韓国映画の上映が行われた。また、「日韓のエンターテイメントの未来」について、イ・ミョンセ映画監督始め、韓国映画評論家協会の陸正學会長や、佐賀女子短期大学の今村正治学長などが討論会を行った。2日目は、慶州芸術文化交流団による伝統演舞から始まり、韓国映画「慶州」の上映が行われた。また、韓国屋台村と題して、来場者に韓国料理が振舞われた。・来場者数:約400人/2日間合計※イベントの様子についてはYouTube配信を行い、来場できない人も視聴参加可能とした。・YouTube動画再生回数:354回※3月31日時点)	







	And the state of t
助成事業の名称	THAI FESTIVAL OITA 2022
団体名	NPO法人Sa-Na・エンタープライズ
助成額	777,000円
事業費	1,726,676円
事業実施期間	令和4年10月22日~10月23日
概要	大分市民にもタイ王国の文化を体感してもらい、国際感覚豊かな人材の育成に貢献していくとともに、今回のイベントを通じ、タイ王国政府、留学生及びイベントに協賛してくれた県内企業とのネットワーク構築・交流促進を目的に2日にわたって開催された。会場内には、タイ王国の現地マーケットの雰囲気を演出し、タイ料理を販売する「フードブース」やタイ王国のお土産品などを販売する「お土産ブース」、タイ王国の民族衣装の紹介を始め、タイ人を含む出演者によるステージパフォーマンスなどが行われた。・来場者数:約15,000人/関係者数:250人/出店者数:250人







助成事業の名称	日韓子ども民俗芸能祭
団体名	おおいた民謡・民俗芸能活性化委員会
助成額	449,000円 ※会場費のみ
事業費	8,063,069円
事業実施期間	令和4年10月29日~10月30日
概要	日韓の文化芸術交流と次世代交流により未来を志向する機会の創出のため2日間にわたって開催された。韓国慶州市からはリトルイェイン舞踊団が来日し、舞踊を披露した。大分からは姫島村「きつね踊り」、由布市「庄内子供神楽」を始め、大分県由布高校神楽部(全国高校文化祭グランプリ校)や、津久見扇子踊り「若葉会」が舞踊を披露した。 ・来場者数:986人/出演者数:約100人/スタッフ数:55人







助成事業の名称	2024デフビーチバレーボール・アジア大会大分市開催に向けた デフビーチバレーボール第3回大分国際親善大会
申請者名	一般社団法人日本デフビーチバレーボール協会
助成額	777,000円
事業費	3,149,946円
事業実施期間	令和5年3月19日~21日
概要	世界初となるデフビーチバレーボール・アジア大会を大分市田ノ浦ビーチで開催することを第一の目標に掲げ、大分の魅力を世界へアピールするため、また地元の方に障がい者スポーツを通して国際理解・ノーマライゼーションの促進をしてもらうために3日間に渡って国際親善大会が開催された。 当初、アジア圏のイラン・オーストラリア・タイのチームを招聘する予定だったが、新型コロナウイルス感染症等の影響で実現せず、代わりにチェコ・ポーランドのチームが招聘され日本チームと優勝を競った。当日は、試合の他に、ハンドバイクやシッティングビーチバレー体験などの一般来場者向けの催しも併催された。 ・来場者数:1,500人 海外選手:8人 海外スタッフ:4人 国内選手:8人 イベントスタッフ:80人







○多文化共生イベント(外国人も暮らしやすいまちづくりのためのイベント)

	レー() 日) (O-1) (O-2) (Y-2) (O-2) (
助成事業の名称	着付けといけばなの体験教室
団体名	大分高等学校 インターアクト部
助成額	225,000円
事業費	281,640円
事業実施期間	_
概要	外国人参加者と日本人参加者が交流するきっかけ作りにしてもらい、外国人参加者の日本文化への関心向上を目指し、また日本人参加者の国際理解の向上も目指すために開催。着付けをした後に、「長浜神社」に参拝、散策してもらう。また、いけばな教室も開催。 <u>→新型コロナ感染拡大に伴い、中止</u> <u>※中止のため助成交付無し</u>